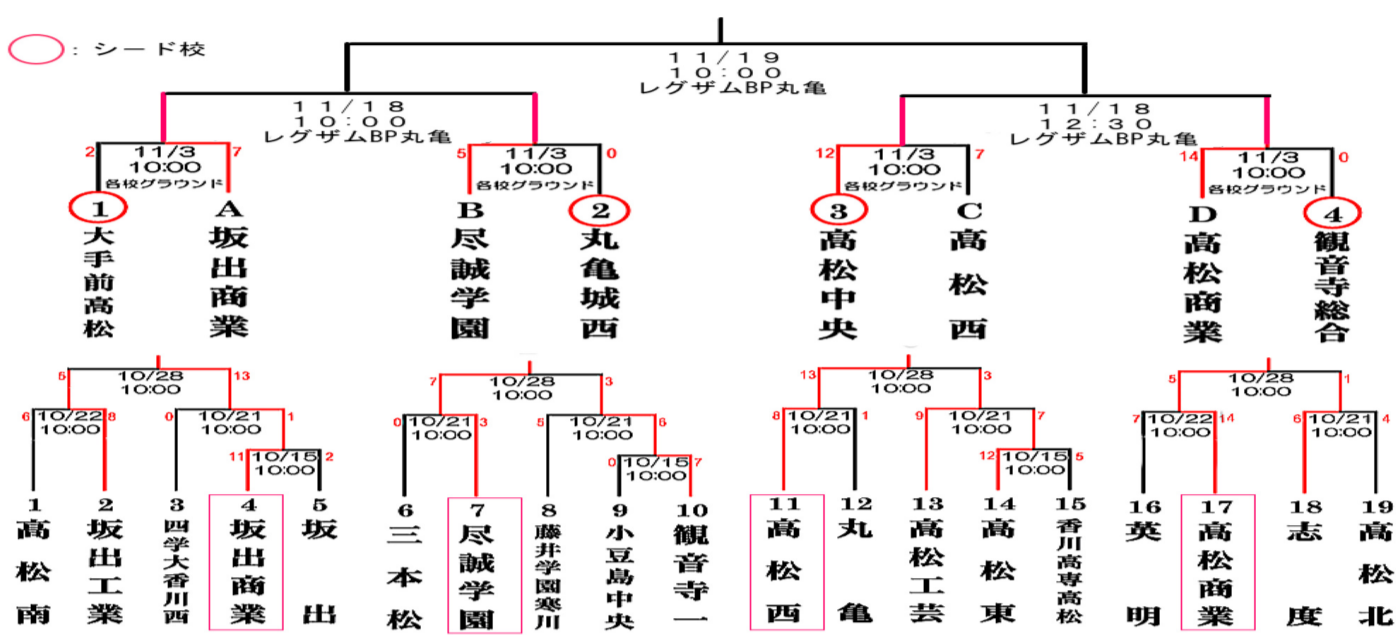


令和5年度1年生大会はじまる

西岡歯科通信

第76回秋季四国地区高等学校野球香川県大会では大手前高松が優勝しました。四国大会は丸亀城西・高松中央が初戦で大敗し、2回戦で大手前高松が明徳義塾（高知県3位）と対戦するも3対10と大敗。優勝は高知（高知県1位）となり、明治神宮野球大会に挑みます。

さて、次世代の高校野球児が集う1年生の県大会が10月中旬よりはじまっております。主な結果については左図の通りです。19日に優勝校が決まるでしょう。彼らが、来年夏の大会で躍動することを期待します。



高松商OB最新情報

西岡歯科医院
〒760-0062
香川県高松市塩上町
3丁目14番17号
☎087-831-1987

プロ野球

《セントラル・リーグクライマックスシリーズ》
ご承知の如く広島は末包昇大選手がセリーグ2位のクライマックスシリーズに進出する原動力の一人として活躍しました。来年は一軍でレギュラーポジションの定着を目指してシーズンを通して活躍する事を期待します。

社会人野球（硬式）

《日本選手権》
開催日時 11月8日から
開催場所 京セラドーム
出場チームと選手一覧
(ENEOS)

社会人野球（軟式）

《天皇賜杯第78回全日本軟式野球大会》
開催日時 9月15日から
開催場所 香川県
試合結果

○社会人野球（硬式）
JABA四国大会優勝を果たし、1回戦は8日、東北代表のTDKと対戦し、9対2で快勝した模様です。植田響介捕手の出場機会があれば報告します。

中西太氏のお別れ会

香川が生んだスター・中西太氏が今年5月11日に90歳で亡くなりました。



中西氏は、高松一高の主将として甲子園で活躍し、「怪童」の異名を取り、西鉄入団後は新人王や本塁打王などに輝き、1956年から日本シリーズ3連覇の原動力となった。また指導者としても、西鉄や阪神など5球団で監督を務め、選手育成に取り組んだ。まさに香川県が生んだ野球界のレジェンド。11月3日（金）、レグザムスタジアムにて毎年行われる高松商、高松、高松一の野球部OBらで作る「高松讃祭会」による定期戦を『中西太氏追悼試合』として行われました。そして同日、JRクレメントホテル高松にて『お別れ



会』が開催され、野球関係者が多数集まったようです。お別れの言葉を送った侍ジャパン監督の栗山英樹氏（62）は中西氏の熱血指導を受けた教え子の一人。中西氏の遺影の前に「おやっさん」と語り掛けながら感謝の思いを伝えた。野球界にとって大きな功績を残した中西太氏の熱き思いは後世に受け継がれていくでしょう。



試合の成績は秘密にしておきます。笑。当時いっしょに出場していた方々とお話する事が出来、ほのぼのとした一時を過ごせたことに感謝します。今後も歯科医師会野球部、よろしくお願ひします。

地域だより

11月5日（日）、屋島JAGランドにて毎年恒例の三師会（歯科医師会と医師会、薬剤師会）の野球大会が開催されました。僕が大会会場に向いて応援するのは約10年ぶり。以前は外野にまともなフェンスがなく、大きな石垣があつて怖かったんですが、きれいに整備されていました。

機会があれば報告します。

(JR四国)

四国代表として選出され、11日に東海代表のJR東海と対戦。美濃晃成内野手が9番セカンドでスタメン出場し、3対4で勝ちました。

(JFE西日本)

JABA岡山大会優勝を果たし、11日に関東代表のエイジックと対戦。延長10回の末、8対6で勝ちました。香川卓摩投手の出場機会があれば報告します。尚、日本選手権の詳細は次号で報告します。

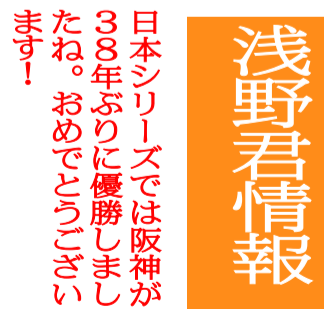
好ムードの中試合が始まった。アムロン先発は浦大輝投手。序盤は打たせて取る粘り強い丁寧なピッチングをして、投手戦ムードを呈する。中盤4回アムロンの攻撃で相手チームのエラーが続出し先制点が入るチャンスがあったが、間一髪アウト。その裏の足利病院の攻撃では3番DH倉持選手に痛打を浴び1点先制された。足利病院の新藤投手は、140キロ前後のストレーに緩急を織り交せる、終始スキが無いナイスピッチングでした。試合は、惜しくも2対0の惜敗となりました。

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	計
香川県アムロン	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
栃木県足利病院	0	0	0	1	0	1	0	0	×	2

(NX四国)

香川県ナンバーワンとして出場した日本通運四国は、1回戦は不戦勝で、大会2日目、2回戦からのスタートとなりました。高知県代表のハカタ貨物との対戦は3対0で勝ちました。続いて休む暇もなく3回戦は強豪チーム、佐賀県代表の医療法人ひらまつ病院と対戦。いきなり先制の猛攻を受けて初回4失点。流れを変えられず、10対2となりました。

この医療法人ひらまつ病院は準決勝まで進み、今回優勝した愛知西代表の和合病院と対戦。今大会の中でも好ゲームのひとつとなりました。内容は次の通り。ひらまつ病院は3回に2点先制して流れを作るも、和合病院は落ち着いて反撃の機会を探る。6回に和合病院1番青木選手がライト前にヒットを放つた後、上手く打順が繋がって2点返し同点とし、延長10回で和合病院が逆転して3対2で接戦を制した。見ごたえのある試合でした。



浅野君情報

さて、浅野君は秋季キャンプ直前に体調不良により3軍調整中です。今年は、オーバードライクになってしまっていたかもしれませんね。焦らずに体調を整えれば必ず一軍に戻れます。休むことも覚えなくてはと思います。来年のキャンプインに向けて体調を整えましょう。

